

GAKUTOのPOINT ② 個別最適な学び

一人ひとりの子供の力に合った支援をすることで、子供たちが自分自身の学習状況を的確に把握することができます。学習の振り返りや自己評価を大切に、子供自身の能力を伸ばせる教科書を目指しています。

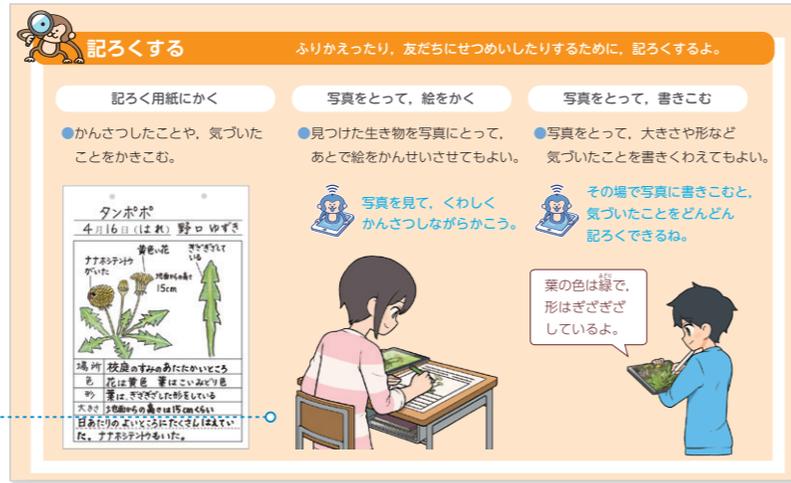
振り返りの問題などだけでなく、学習の中で子供が参考になるような、発表、表現方法の例などを多様に掲載しました。個々の能力が上がることで、「みんなと学ぶ」協働的な学習も充実していきます。

学習しやすい方法を選ぶ

記録や発表などの方法を複数提示しました。子供の技能などに差がある場合でも、子供自身が方法を選択することで、効果的に学習できるようにしました。

記録のしかたを選ぶ

活動時間や技能などに応じて、子供自身が記録方法を選択し効果的な学習を行えるよう配慮しています。



3年 p.13 「しぜんのかんさつ」で見つけた生き物を記録する

自己評価からの改善

今回、学習の見通しと振り返りを強化したことにより、子供自身が自分の学習状況を把握しやすくなりました。

単元の学習に入る前に振り返ることで、スムーズに学びが進められます。



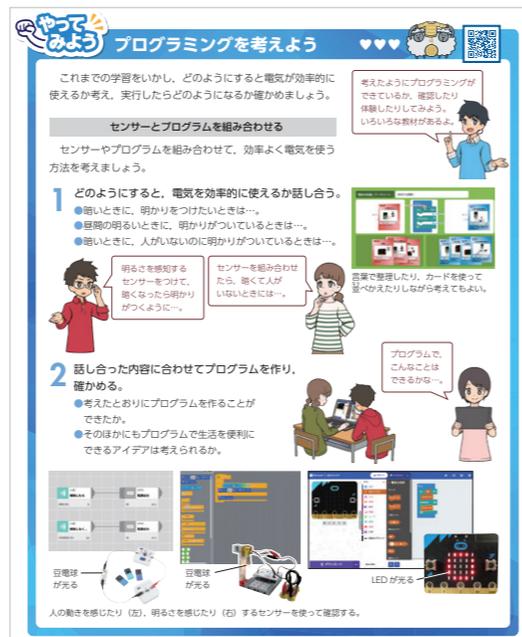
5年 p.66 QR「思い出そう」



4年 p.63 振り返りを個々の次の学習へと生かす

自己評価することで、次への目標が生まれ、子供の意欲が喚起されます。

調べる手段を選ぶ



6年 p.201 調べたい教材や方法を選んで調べる

インクルーシブ教育 → 実験器具の使い方など

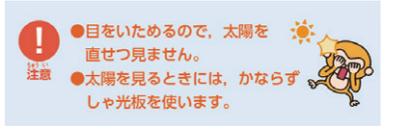
特別支援の考えをもとにしたわかりやすい構成を心がけました。

一連の作業を細かなステップに分解し、縦の流れで示すことで、一つひとつ確認しながら学習できます。また、本文の問題解決の流れも同様に、特別支援の考えをもとにしたものです。配色やフォントなども、わかりやすいよう配慮しました。



小田切真先生

特に実験器具の使い方はどの子供も安全に学習し力をつけられるような紙面にしました。また否定的な表現の指導は、発達障害の子供にとっては効果が得られず、むしろ信頼関係を損ってしてしまうことがあります。実験や観察の注意は、肯定的な表現の言葉を心がけています。どうすればよいのかを示すことで、子供が具体的な行動を身につけることができます。



特別支援

基礎技能は動画でも確認することで、理解が深まります。



5年 p.186-187



全体を捉える写真と、子供の実際の視点からの写真を並べることで、操作方法が理解しやすくなります。

短く具体的にわかりやすい言葉で手順を示し、確認しながら作業を進められるようにしました。

カラーユニバーサル

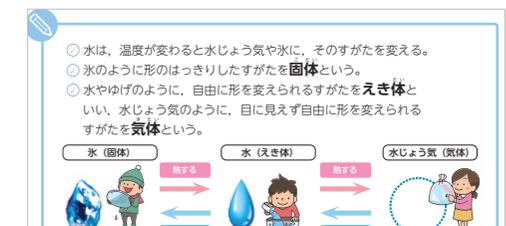
全てのページで見やすく、判別しやすい配色でレイアウトを採用しました。また、具体的な色名を明記しています。



6年 p.167

UD フォント

全ての子供が読みやすく、理解しやすいようUDフォントを使用し、改行位置にも配慮しました。



4年 p.129